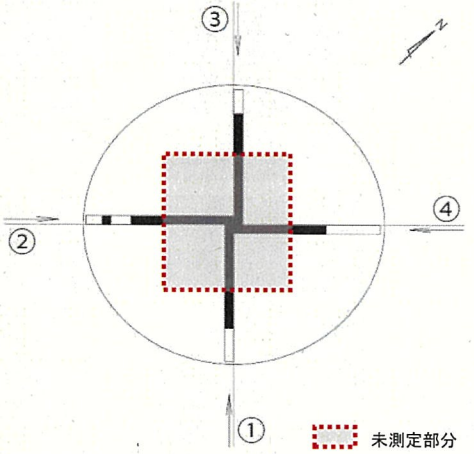
根株診断カルテ（レジ）

No. 5　　事務所名：

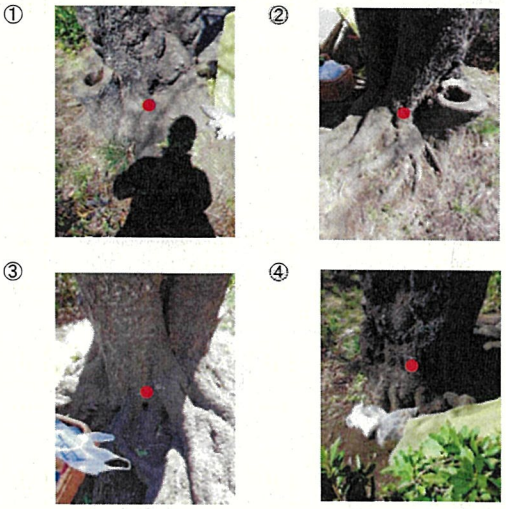
場所	国立大学通り	樹木医名	[redacted]	診断日	2024年3月18日
樹木番号	W-12	樹種名	ヤマザクラ	樹高	9 m
幹周	167 cm	枝張	10 m		

測定高さ	0.2 m	測定直径	72 cm ↔ 75 cm	機種名	PD-600
俯角	40 °	補正直径	94 cm ↔ 98 cm		

想定断面図



測定位置写真



t/R率

各測定方向のt/R率とt/R率の計算式

① 0.247　11.4 / (94 / 2 − 0.9)　　② 0.243　11.7 / (98 / 2 − 0.9)

③ 0.176　8.0 / (94 / 2 − 1.6)　　④ 0.369　17.6 / (98 / 2 − 1.3)

腐朽空洞率（%）　54.8 %

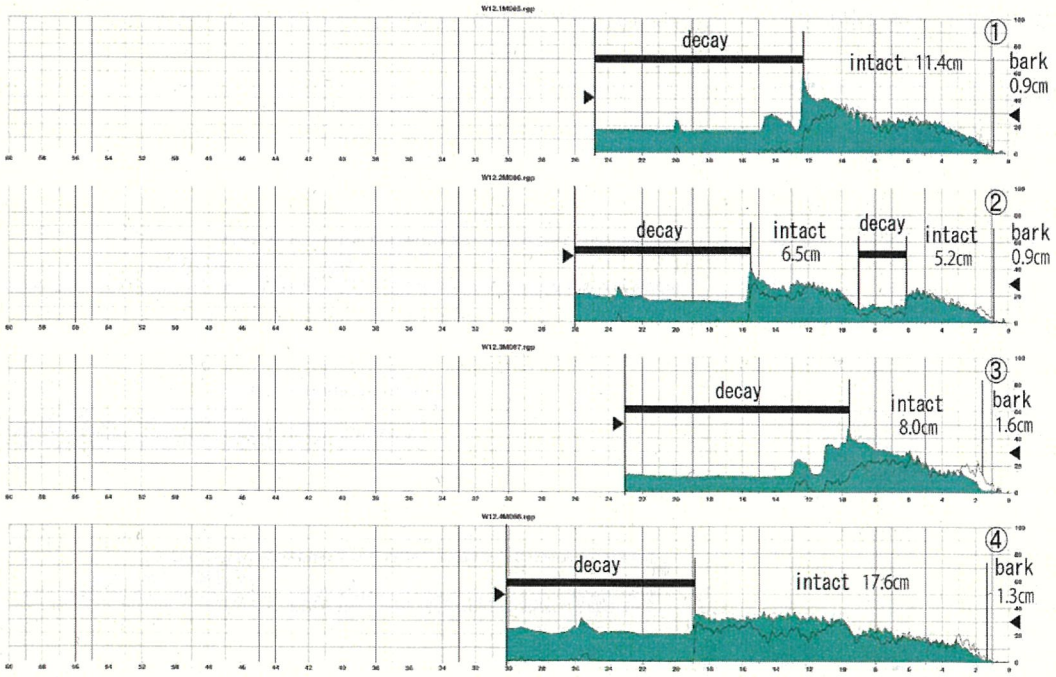
空洞率計算式

$$\left(\frac{94 - 0.9 - 1.6 - 11.4 - 8.0 + 98 - 0.9 - 1.3 - 11.7 - 17.6}{94 - 0.9 - 1.6 + 98 - 0.9 - 1.3} \right)^2$$

所見

心材に非常に大きな腐朽空洞がみとめられる。
①②③方向の健全材の厚みが薄くなっている。

測定結果



凡例　▶：データの終点　■：腐朽（空洞）部　bark：樹皮　intact：健全　decay：腐朽（空洞）　◀：データの開始

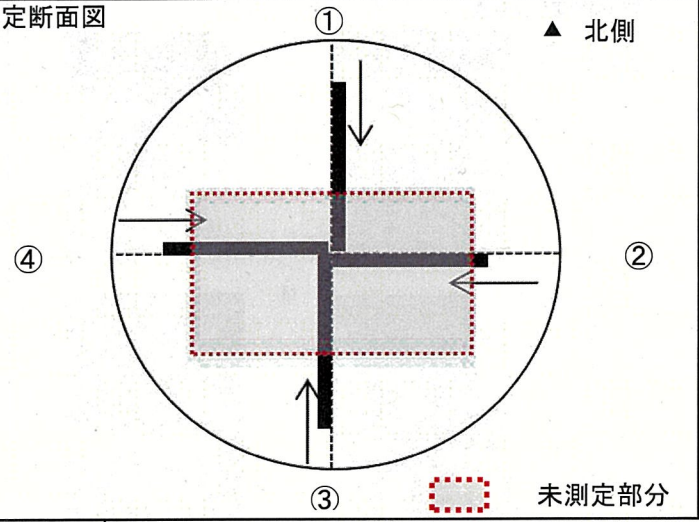
根株診断カルテ（レジストグラフ）

No. 7　　事務所名

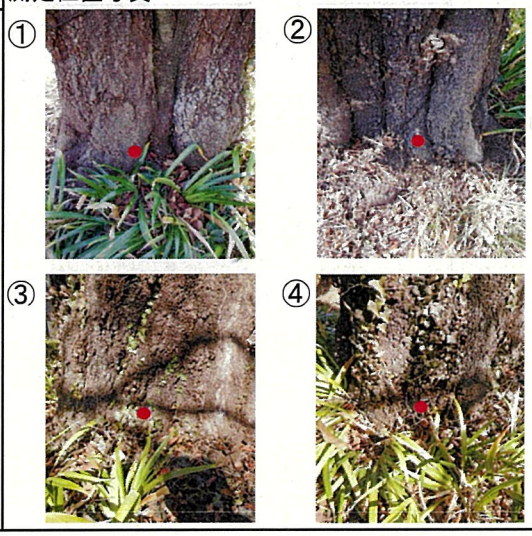
路線名	国立大学通り	樹木医名	[redacted]	診断日	2026年1月30日		
樹木番号	W-14	樹種名	ソメイヨシノ	樹高: 11 m	幹周 324 cm	枝張	11 m

測定高さ	0.1 m	測定直径	103 cm ⇔ 110 cm	機種名	レジストグラフ　PD－600
俯角	40 °	補正直径	135 cm ⇔ 144 cm		

想定断面図



測定位置写真



t/R率	各測定方向のt/R率とt/R率の計算式							
	① 0.226	15.0	／	67.5−1.0	② 0.225	16.0	／	72.1−1.0
	③ 0.164	11.0	／	67.5−0.5	④ 0.183	13.0	／	72.1−1.0

腐朽空洞率（%）　64.1%

空洞率計算式

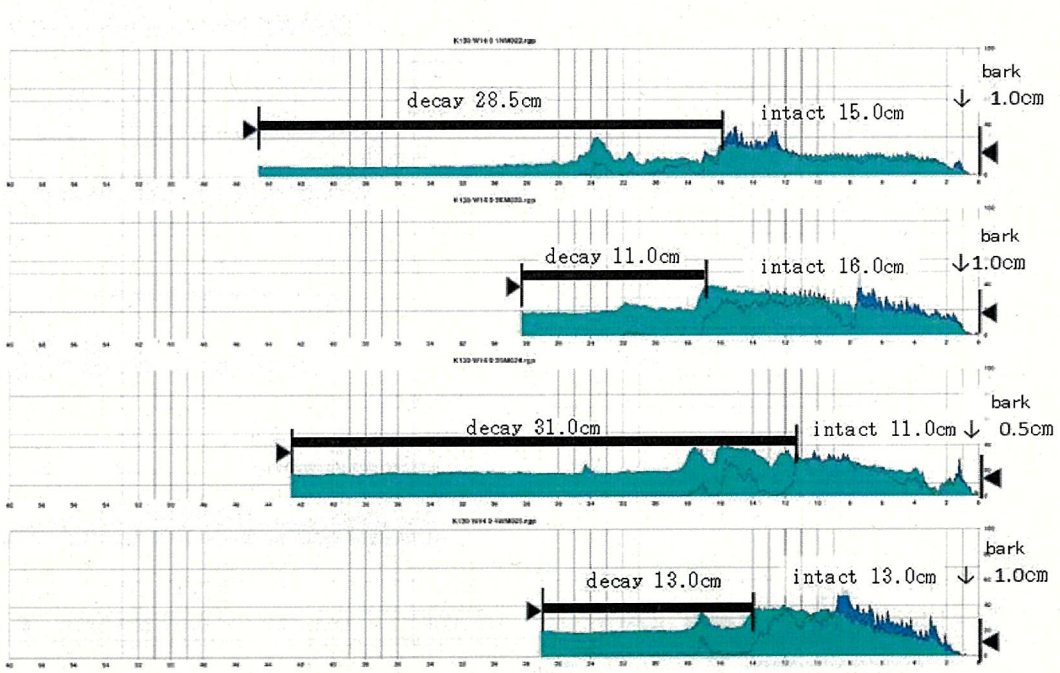
$$\left(\frac{134.9-1.0-1.0 \quad -15.0-11.0 \quad + \quad 144.1-1.0-0.5 \quad -16.0-13.0}{134.9-1.0-1.0 \quad + \quad 144.1-1.0-0.5}\right)^{2}$$

腐朽度判定	□ 10%未満（健全か健全に近い：A）	□ 10%以上 30%未満（注意すべき被害：B1）	□ 30%以上 50%未満（著しい被害：B2）	■ 50%以上（不健全：C）

所見

腐朽空洞率は64.1%、C判定、不健全なものであった。
根株心材に非常に大きな空洞部が見られ、倒木の危険性が認めらるので安全対策が必要である。

測定結果



凡例　▶ :データの終点　▬ :腐朽（空洞）部 bark:樹皮 intact:健全 decay:腐朽（空洞）　◀ :データの開始

根株診断カルテ(レジ)

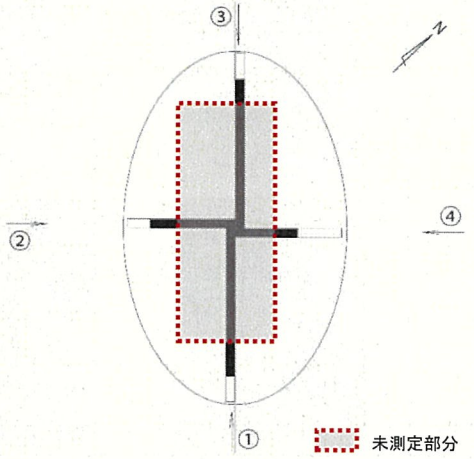
No. 6

事務所名:

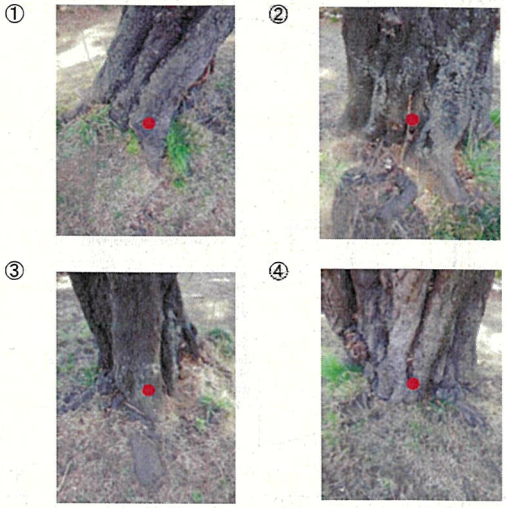
場所	国立大学通り	樹木医名	[redacted]			診断日	2024年3月18日		
樹木番号	W-32	樹種名	ソメイヨシノ	樹高	10 m	幹周	305 cm	枝張	13 m

測定高さ	0.2 m	測定直径	120 cm ↔ 73 cm	機種名	PD-600
俯角	40 °	補正直径	157 cm ↔ 96 cm		

想定断面図



測定位置写真



t/R率

各測定方向のt/R率とt/R率の計算式

① 0.149 11.5 / (157 / 2 − 1.4)　② 0.212 9.8 / (96 / 2 − 1.8)

③ 0.151 11.7 / (157 / 2 − 0.8)　④ 0.411 18.8 / (96 / 2 − 2.3)

腐朽空洞率(%) 62.4 %

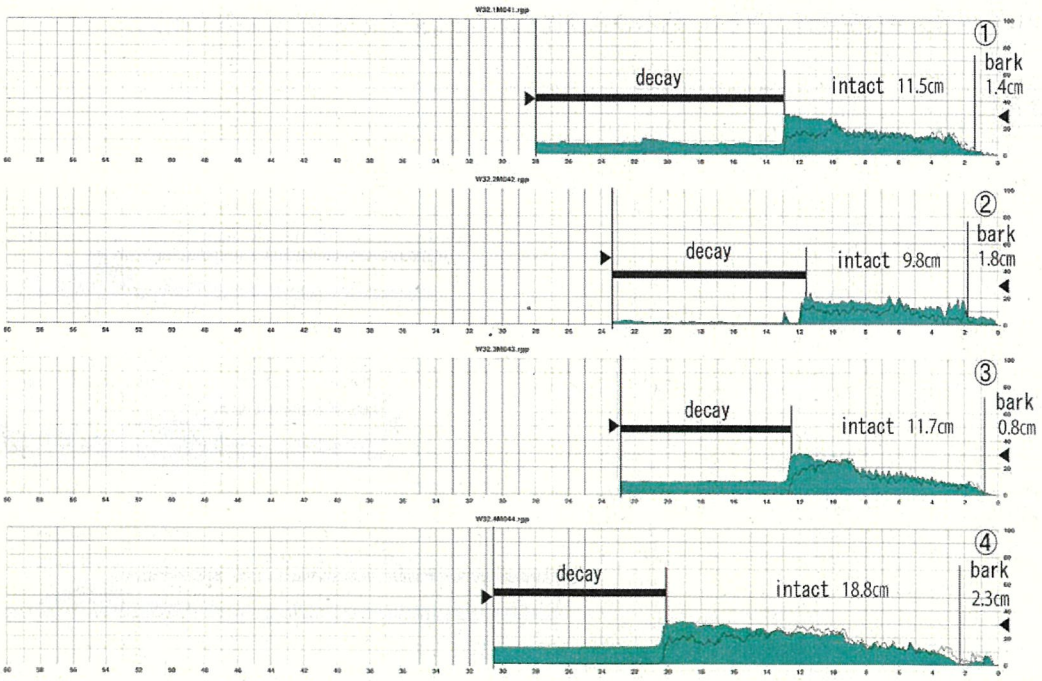
空洞率計算式

$$\left(\frac{157-1.4-0.8-11.5-11.7}{157-1.4-0.8}+\frac{96-1.8-2.3-9.8-18.8}{96-1.8-2.3}\right)^{2}$$

所見

心材に非常に大きな腐朽空洞がみとめられる。
①②③方向の健全材の厚みが薄くなっている。

測定結果



凡例 ▶:データの終点　■:腐朽(空洞)部　bark:樹皮　intact:健全　decay:腐朽(空洞)　◀:データの開始

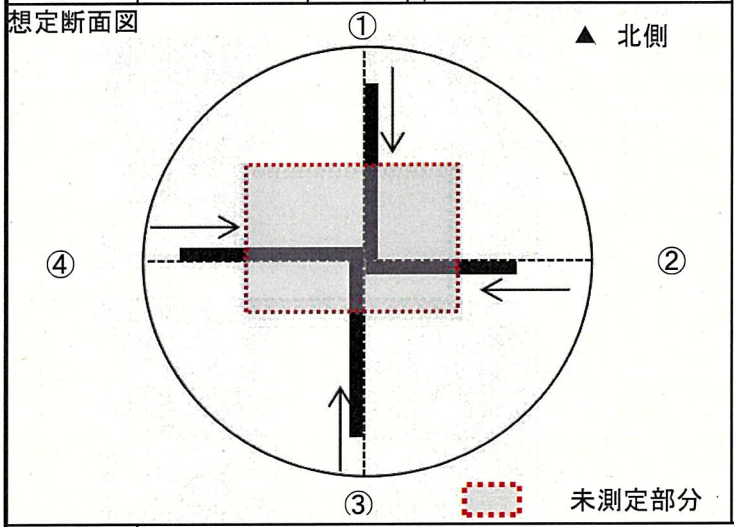
根株診断カルテ（レジストグラフ）

No. 9　　事務所名

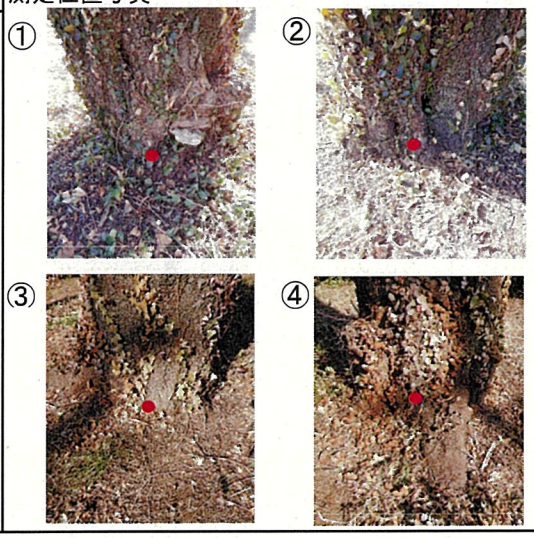
路線名	国立大学通り	樹木医名	[redacted]	診断日	2026年1月30日
樹木番号	W-51	樹種名	ソメイヨシノ	樹高: 10 m	幹周 186 cm　枝張 5 m

測定高さ	0.1 m	測定直径	75 cm ↔ 69 cm	機種名	レジストグラフ　PD－600
俯角	40 °	補正直径	98 cm ↔ 90 cm		

想定断面図



測定位置写真



t/R率

各測定方向のt/R率とt/R率の計算式

	t	R		t/R
①	0.175	8.5	／	49.1−0.5
②	0.324	14.5	／	45.2−0.5
③	0.175	8.5	／	49.1−0.5
④	0.134	6.0	／	45.2−0.5

腐朽空洞率（%）　63.6%

空洞率計算式

$$\left(\frac{98.3-0.5-0.5\quad -8.5-8.5 \;+\; 90.4-0.5-0.5\quad -14.8-6.0}{98.3-0.5-0.5 \;+\; 90.4-0.5-0.5}\right)^{2}$$

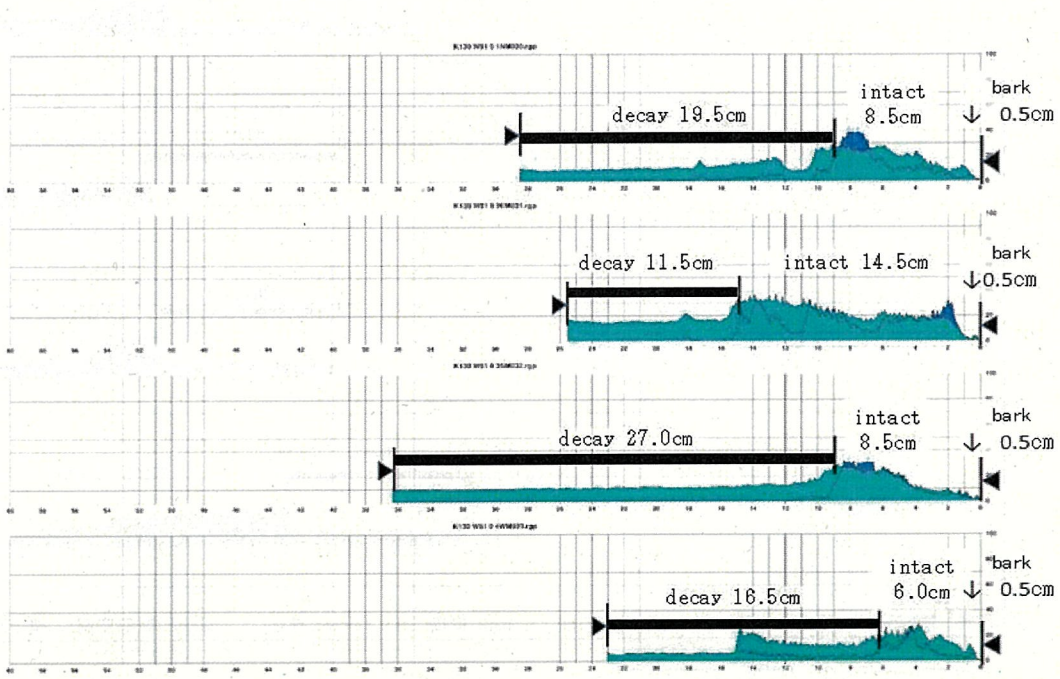
腐朽度判定

- □ 10%未満（健全か健全に近い：A）
- □ 10%以上 30%未満（注意すべき被害：B1）
- □ 30%以上 50%未満（著しい被害：B2）
- ■ 50%以上（不健全：C）

所見

腐朽空洞率は63.6%、C判定、不健全なものであった。
根株心材に非常に大きな空洞部が見られ、倒木の危険性が認めらるので安全対策が必要である。

測定結果



凡例　▶ :データの終点　▬ :腐朽（空洞）部 bark:樹皮 intact:健全 decay:腐朽（空洞）　◀ :データの開始

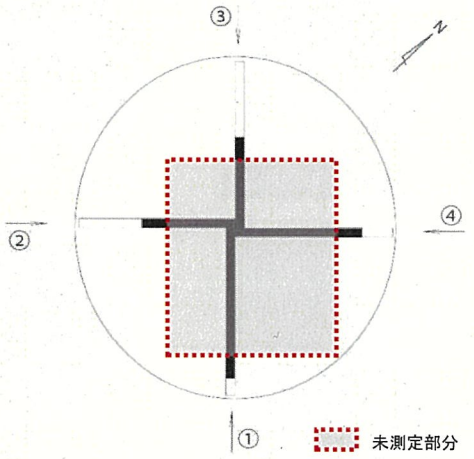
根株診断カルテ(レジ)

No. 7　　事務所名:

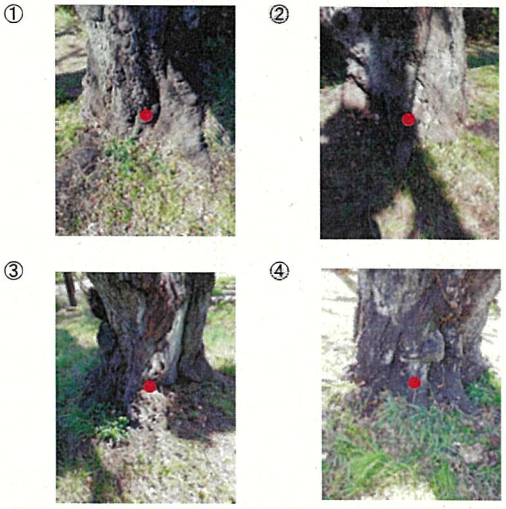
場所	国立大学通り	樹木医名	[redacted]			診断日	2024年3月18日		
樹木番号	W-56	樹種名	ソメイヨシノ	樹高	10 m	幹周	308 cm	枝張	13 m

測定高さ	0.2 m	測定直径	116 cm ↔ 105 cm	機種名	PD-600
俯角	40 °	補正直径	152 cm ↔ 138 cm		

想定断面図



測定位置写真



t/R率

各測定方向のt/R率とt/R率の計算式

① 0.105　7.8 / (152 / 2 − 1.4)　　② 0.402　27.1 / (138 / 2 − 1.6)

③ 0.454　33.5 / (152 / 2 − 2.2)　　④ 0.196　13.3 / (138 / 2 − 1.2)

腐朽空洞率(%)　50.7 %

空洞率計算式

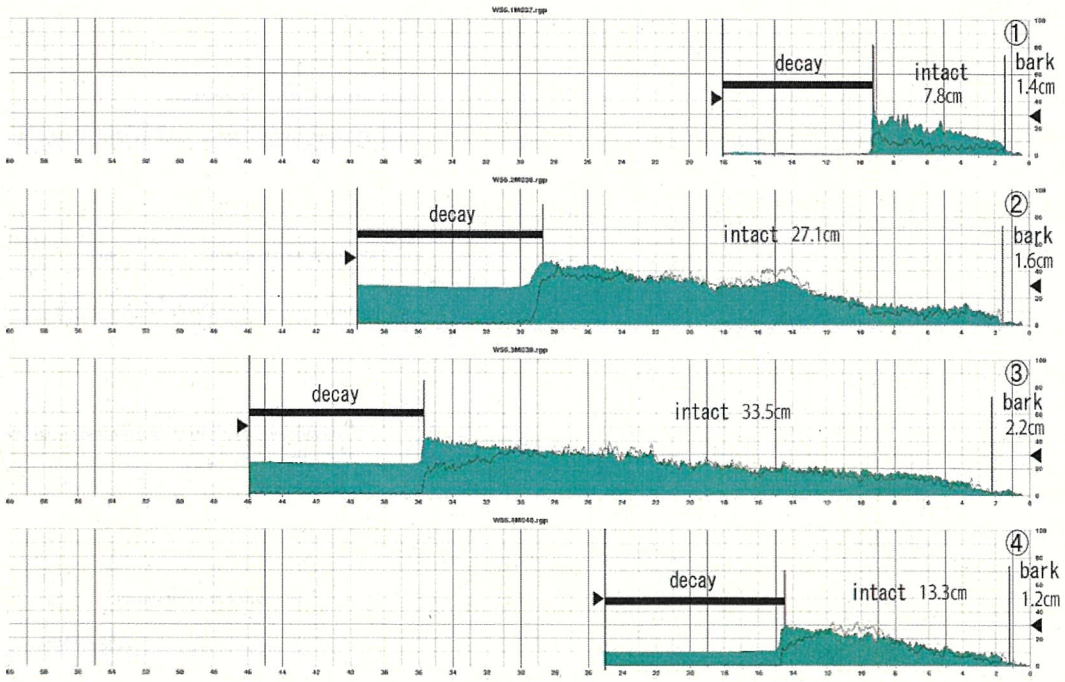
$$\left(\frac{152-1.4-2.2-7.8-33.5+138-1.6-1.2-27.1-13.3}{152-1.4-2.2+138-1.6-1.2}\right)^2$$

所見

心材に非常に大きな腐朽空洞がみとめられる。

①④方向の健全材の厚みが薄くなっている。

測定結果



凡例　▶:データの終点　■:腐朽(空洞)部　bark:樹皮　intact:健全　decay:腐朽(空洞)　◀:データの開始

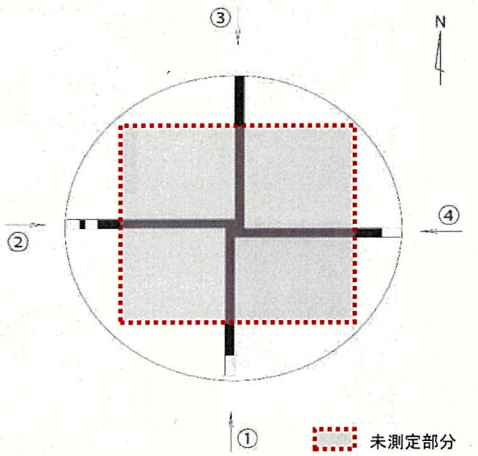
根株診断カルテ（レジ）

No. 9　　事務所名：

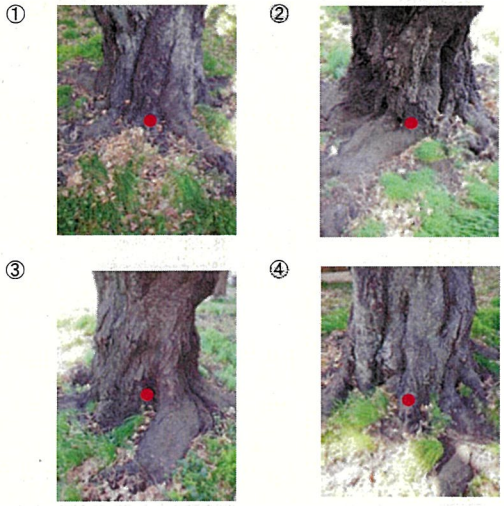
場所	国立大学通り	樹木医名	[redacted]			診断日	2024年3月18日		
樹木番号	W-68	樹種名	ソメイヨシノ	樹高	12 m	幹周	296 cm	枝張	18 m

測定高さ	0.1 m	測定直径	104 cm ↔ 111 cm	機種名	PD-600
俯角	40 °	補正直径	136 cm ↔ 145 cm		

想定断面図



測定位置写真



t/R率

各測定方向のt/R率とt/R率の計算式

① 0.140　9.2 / (136 / 2 − 2.3)　　② 0.155　11.1 / (145 / 2 − 0.8)

③ 0.000　0.0 / (136 / 2 − 0.0)　　④ 0.109　7.8 / (145 / 2 − 0.8)

腐朽空洞率（%）　80.7 %

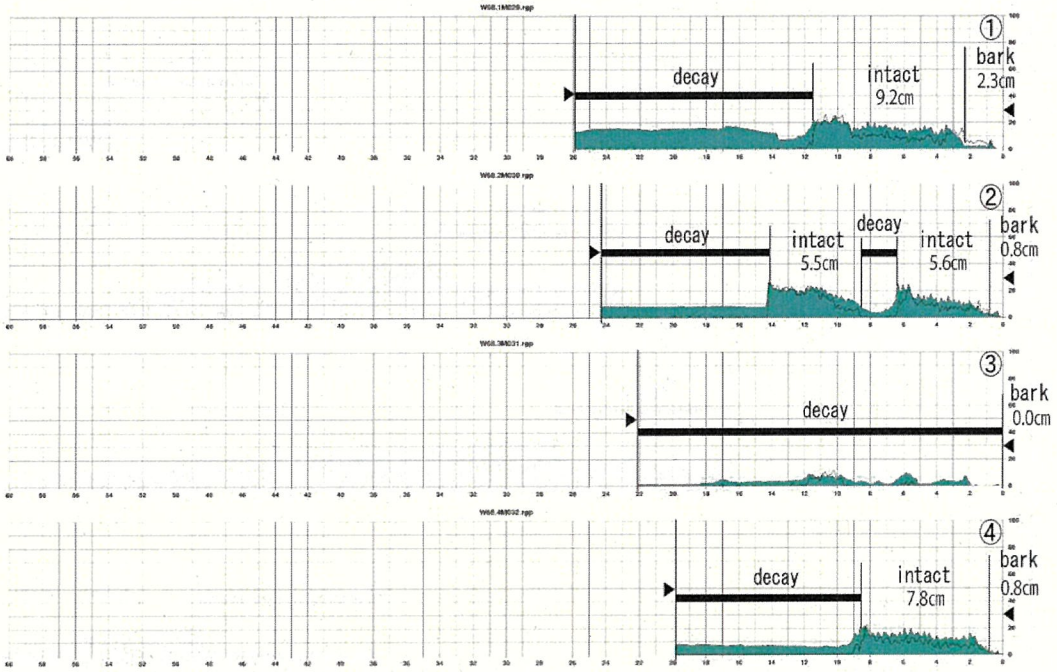
空洞率計算式

$$\left(\frac{136 - 2.3 - 0.0 - 9.2 - 0.0 + 145 - 0.8 - 0.8 - 11.1 - 7.8}{136 - 2.3 - 0.0 + 145 - 0.8 - 0.8} \right)^2$$

所見

辺材から心材に極めて大きな腐朽空洞がみとめられる。
③方向は辺材から心材にかけて健全材がほぼない。①②④方向の健全材の厚みが薄くなっている。
現状で倒木の危険性あり。

測定結果



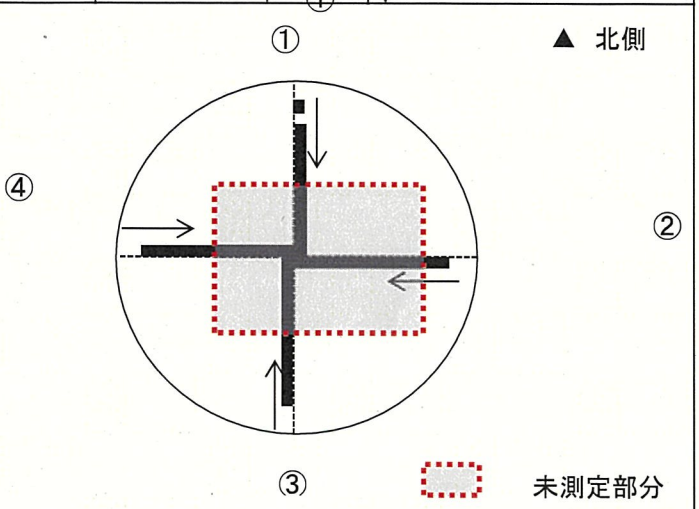
凡例　▶：データの終点　■：腐朽（空洞）部　bark：樹皮　intact：健全　decay：腐朽（空洞）　◀：データの開始

腐朽診断カルテ（レジストグラフ）

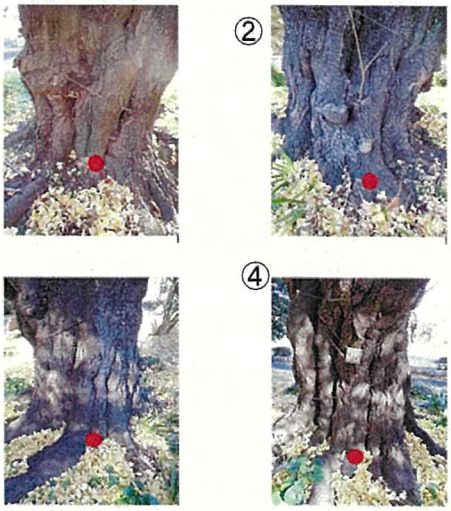
No. 12　　事務所名

路線名	国立大学通り	樹木医名	[redacted]	診断日	2024年12月24日				
樹木番号	W-70	樹種名	ソメイヨシノ	樹高:	13 m	幹周	398 cm	枝張	18 m

測定高さ	0.1 m	測定直径	124 cm ↔ 130 cm	機種名	レジストグラフ　PD－600
俯角	40 °	補正直径	162 cm ↔ 170 cm		



測定位置写真



t/R率

各測定方向のt/R率とt/R率の計算式

①	0.219	17.5	／	81.0 −1.0	②	0.108	9.0	／	85.0 −2.0
③	0.080	6.3	／	81.0 −2.0	④	0.102	8.5	／	85.0 −2.0

腐朽空洞率（%）　76.2%

空洞率計算式

$$\left(\frac{162-1.0-2.0 \quad -13.0-4.5-6.3}{162-1.0-2.0} + \frac{170-2.0-2.0 \quad -9.0-8.5}{170-2.0-2.0} \right)^{2}$$

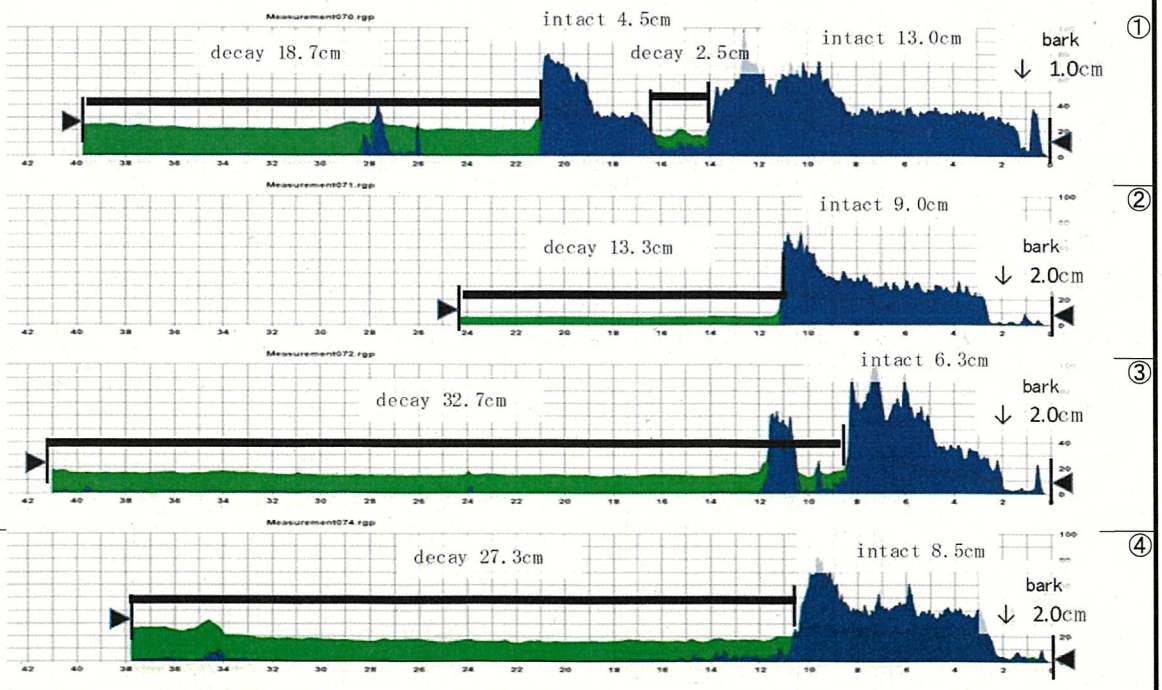
腐朽度判定

- □ 10%未満（健全か健全に近い：A）
- □ 10%以上 30%未満（注意すべき被害：B1）
- □ 30%以上 50%未満（著しい被害：B2）
- ■ 50%以上（不健全：C）

所見

腐朽空洞率は76.2%、C判定、不健全なものであった。
根株芯材部に大きな空洞部が見られ、t／R率は4方向ともに30%未満であった。
倒木の危険性が認められのので安全対策が必要である。

測定結果



凡例　▶ :データの終点　▬ :腐朽（空洞）部 bark:樹皮 intact:健全 decay:腐朽（空洞）◀ :データの開始